

答弁に入れなかったのはなぜか？



丸岡 伸実 議員

町長

通告趣旨と異なる

【丸岡】空き家対策として、集落が主体となつて移住定住を促進させるため、危険家屋と土地を譲り受け、町の空き家・空き地バンクに登録した場合、解体する費用を補助し、新築家屋の建設用地として提供するような仕組みを、町は検討している。

1月20日の時点でここまで考えて、県に提出されているものが3月議会の私への答弁に盛り込まれなかったのはなぜか。

【町長】一般質問の通告趣旨と異なることとあくまでも一つの発想であり、構想として固まったものではない。

【丸岡】協議会の人選など、取り組みはどうなっているか。

【町長】今定例会に協議会委員への謝礼を予算計上し、準備を進めている。

教育委員長

センター化も視野にあるか？ いまは考えていない



顔の見える調理場

【丸岡】過疎自立計画に

「中山小学校の給食調理場が手狭で調理機器も古いため、文部科学省の定める学校給食衛生管理基準で望ましいとされる設備への改修が必要だ」と書かれているが、その際、中山地区でのセンター化も視野にあるのか。

【教育委員長】改修の

必要性を記載しているが、これは改修をする場合、財源に過疎債を利用することを想定して平成22年に計画をしたものだ。中山地区のセンター化は、いまのところ考えていない。

都市計画の必要性は？

町長

専門的な観点から検討すべき

【丸岡】県内の都市計画区域は、19市町村のうち、6町にない。本町もないうちのひとつだ。本町では、建築確認も木造の個人住宅では必要ない場合もある。その結果、民法すら守られず建てられる住宅もある。

都市計画の必要性を10年プランの中に盛り込むべきではないか。

【町長】都市計画区域に指定をすれば、指定されない時に比べて法の規制が厳しくなる。必要性の有無やその是非を、専門的な観点から検討すべきである。



「あ、危ない」